



尿路結石患者の国内データ・バイオバンク設立研究 (多施設共同前向き研究)



ライフサイエンス/
情報・通信



Keywords

尿路結石、データバンク、ドラッグスクリーニング



田口 和己 助教

所属

医学研究科 腎・泌尿器学分野

専門分野

尿路結石症・腎疾患・内分泌代謝疾患

所属学会

日本泌尿器科学会・日本腎臓学会・日本内分泌学会

HP

<https://ncu-uro.jp/>



研究概要

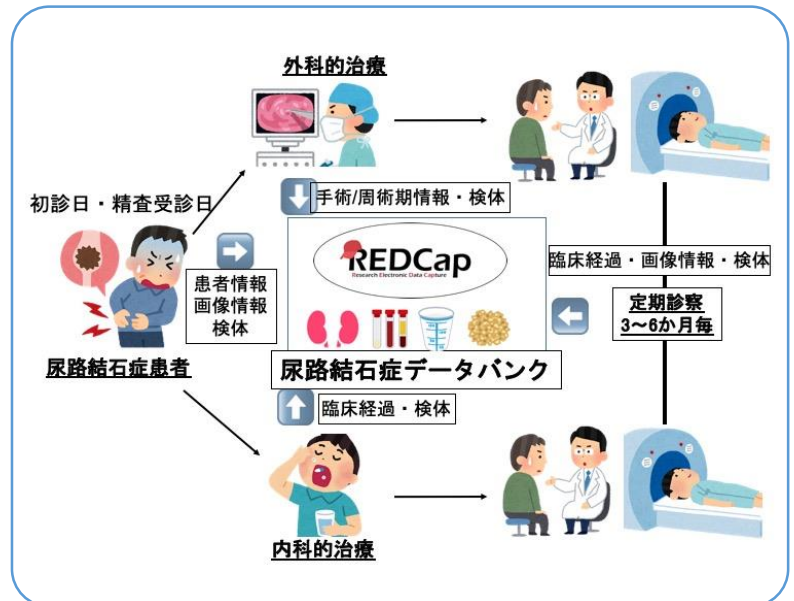
本研究は、尿路結石症患者の臨床情報と検体試料を集め、保存するための前向き登録研究です。

本研究の目的は、臨床情報のみならず結石・腎組織・尿・血液から得られる情報において、尿路結石の形成につながる病態を明らかにすることです。

さらに、データ集積管理システム（Research Electronic Data Capture: REDCap）への臨床情報の蓄積より、生体試料の解析結果と臨床アウトカムの関係性を明らかにし、オーダーメイドの薬物治療を開発することができます。

関連する論文

1. Taguchi K, et al. Genome-wide gene expression profiling of Randall's plaques in calcium oxalate stone formers. *J Am Soc Nephrol* 28:333-47.2017
2. Taguchi K, et al. Helper T-cell signaling and inflammatory pathway lead to formation of calcium phosphate but not calcium oxalate stones on Randall's plaques. *Int J Urol*. 26:670-677, 2019
3. Taguchi K, et al. The UAA clinical guideline for urinary stone disease. *Int J Urol*. 26:688-709. 2019
4. Okada A, Taguchi K, et al. Identification of new urinary risk markers for urinary stones using a logistic model and multinomial logit model. *Clin Exp Nephrol*. 23: 710-716, 2019
5. Tzou DT, Taguchi K, et al. Computed Tomography Radiation Exposure Among Referred Kidney Stone Patients: Results from the Registry for Stones of the Kidney and Ureter. *J Endourol*. 33: 619-624, 2019



今後の展望

多施設にて尿路結石症患者の登録を行います。臨床情報の解析及び生体試料情報との関連解析から、バイオマーカーの検索、病態責任遺伝子の同定を行い、個別の最適治療の確立を目指します。



研究者からのメッセージ

尿路結石症は10人に一人が罹患し、世界3大疼痛としても知られる疾患です。有用な薬物治療が確立されておらず、社会的なニーズからこのような世界初の大規模データ・バイオバンクの設立に向けて従事してまいります。

問い合わせ

産学官共創イノベーションセンター

(桜山キャンパス本部棟2階/事務局学術課内)

〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1番地
(名古屋市営地下鉄桜通線「桜山」駅③出口すぐ)

☎ 052-853-8309 FAX 052-841-0261

✉ ncu-innovation@sec.nagoya-cu.ac.jp